

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						1 子どもの「居場所」づくりの推進			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
①児童館、地域子育て支援拠点の充実	地域や年齢が異なる子ども同士の交流を促進し、仲間づくりの輪を広げます。	参加人数	2,205人 内訳 児童館864人 子育て支援センター1,341人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では安全対策に努め、地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った児童館、地域子育て支援拠点の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			4,226人 内訳 児童館2,011人 子育て支援センター2,215人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では安全対策に努め、地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った児童館、地域子育て支援拠点の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			1,558人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では安全対策に努め、地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った地域子育て支援拠点の充実のための事業を継続する。	保育課 (ぶりちる)	
			747人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では安全対策に努め、地域や年齢の異なる子ども同士の交流や、仲間づくりの輪を広げることができた。	B:継続	安全対策に努めながら、市民のニーズに合った地域子育て支援拠点の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (虹)	
	中学生や高校生がボランティアとして参加できるような仕組みづくりを推進します。	中・高校生のボランティア参加事業回数 参加人数	2事業実施 0人	③計画より遅れている	2事業実施するが新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中・高校生のボランティアの参加を中止した。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			1事業実施 0人	③計画より遅れている	1事業実施するが新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中・高校生のボランティアの参加を中止した。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
	子育て情報の収集・提供に努めるとともに、相談機能の充実を図り、子育て中の家庭への支援に努めます。	情報の提供 (発行)回数	広報・児童館拠点だより 各12回 計24回	②計画通り進んでいる	広報しらかや児童館拠点だよりを見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			広報・児童館拠点だより 各12回 計24回	②計画通り進んでいる	広報しらかや児童館拠点だよりを見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			広報・拠点だより 各12回 計24回	②計画通り進んでいる	広報しらかや児童館拠点だよりを見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
			広報・拠点だより 各12回 計24回	②計画通り進んでいる	広報しらかや児童館拠点だよりを見て事業に参加される方が多く、事業内での子育て相談や情報提供の場を設けた。	B:継続	支援事業を周知してもらうために、SNS等を利用して情報提供を行っていく。	子育て支援課 (虹)	
		子育て相談受付件数	21件	②計画通り進んでいる	子育て相談の実施。随時子育て相談を行い、子育て中の親の不安解消に努めた。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			13件	②計画通り進んでいる	子育て相談の実施。随時子育て相談を行い、子育て中の親の不安解消に努めた。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			32件	②計画通り進んでいる	子育て相談の実施。随時子育て相談を行い、子育て中の親の不安解消に努めた。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
			8件	③計画より遅れている	電話や面談での相談を随時行うことと共に、利用者が安心して相談できる環境づくりに努めた。	B:継続	相談事業の周知をすると共に利用者への声掛けも行う。	子育て支援課 (虹)	

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						1 子どもの「居場所」づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
②公民館機能の充実	「夏休み子ども講座」の開催などを通して小中学生の参加を促すとともに、異学年交流を促進するような講座運営に努めます。	主に夏休み期間中に開催する子どもを対象とした事業の実施回数 参加人数	・夏休み子ども講座「はじめての卓球」全2回開催 延べ8名参加 ・夏休み子ども講座「小学生夏休みの宿題応援講座」(絵画)全2回開催 延べ8名参加	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症が収束しない中ではあったが、2年ぶりに子ども講座を開催することができた。 当初は4講座を計画していたが、人数が集まらず2講座が中止となった。 開催ができた講座については、有意義な内容となった。	A:拡大・充実	今年度開催予定 夏休み子ども講座「はじめての卓球」2回 夏休み子ども講座「小学生夏休みの宿題応援講座」(工作)(絵画)各2回	学び支援課
	親子のふれあいや家族間交流の場を提供するため、親子で参加できる講座を開催します。	幼児から小学生までを対象とした事業の実施回数 参加人数	・公民館後期講座「親子コミュニケーション&赤ちゃんマッサージ」全3回開催 延べ26名参加	②計画通り進んでいる	初めての試みとして、乳幼児を持つ若い子育て世代を対象に講座を実施した。 定員(6組)には満たなかったが、5組の母子が参加して講座を実施した。 定員には満たなかったが、少数で実施したことで、参加者同士の親睦が深まり、子育ての悩みを共有するなど意義のある取り組みとなった。 今後も継続して実施するために、現在広報紙・HP・ポスター掲示で周知しているが、参加者を増加させるための啓発方法が今後の課題となる。	B:継続	今年度開催予定 公民館講座「心を満たす赤ちゃんマッサージ」 夏休み親子講座「親子でステんシル」2回 公民館講座「忍者の護身術」2回	
	地域の多様な主体との協同によって、世代間交流を促進します。	市民により構成された団体に協力をいただいた事業回数(市民企画講座実施回数) 参加人数	子どもを対象とした講座を実施していない。	③計画より遅れている	中央公民館の主催事業として、市民により構成される団体から企画を募集し、団体が主体となって運営する市民企画講座を毎年実施しているが、子どもを対象とした企画や親子で参加できる企画の応募が少ない。	B:継続		
③図書館機能の充実	「夏休みの子ども講座」の開催などを通じて小中学生の参加を促すとともに、異学年交流を促進するような講座運営に努めます。	事業実施回数、参加者数	・夏休み子ども講座「友だちにすすめたい本の帯とPOPの作り方講座」2回延べ39人参加 ・子ども司書養成講座 延べ8人参加	②計画通り進んでいる	小学校4~6年生を対象とした子ども司書養成講座を新たに実施した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めている。	学び支援課
	親子のふれあいや家族間交流の場を提供するため、親子で参加できる講座を開催します。	事業実施回数、参加者数	・おはなし会 27回延べ278人参加 ・ちいさい子のおはなし会 26回延べ503人参加 ・お父さんと一緒に本を読もう! 3回延べ26人参加	②計画通り進んでいる	図書館ボランティアとともにおはなし会を開催し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士の交流の場を提供した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めている。	
	児童書を購入するなど、蔵書・資料の充実に努めます。	年度末総資料数	160,114点	②計画通り進んでいる	図書や視聴覚資料等の購入を行い、資料の充実に努めた。	B:継続	引き続き事業の充実に努めている。	
	「おはなし会」「ちいさい子のおはなし会」といった読み聞かせなどをボランティアグループと実施するとともに、ボランティアの育成・発展に努めます。	事業実施回数、参加者数	・おはなし会 27回延べ278人参加 ・ちいさい子のおはなし会 26回延べ503人参加 ・お父さんと一緒に本を読もう! 3回延べ26人参加 ・図書館ボランティア体験講座 延べ8人参加	②計画通り進んでいる	図書館ボランティアとともにおはなし会を開催し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士の交流の場を提供した。また、ボランティア発掘のため、図書館ボランティア体験講座を新たに実施した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めている。	
	『子育て・親育て』のための場所として、親子への読書案内や読み聞かせを実施するとともに、ブックスタートを行います。	事業実施回数、参加者数	・ブックスタート 12回延べ371組参加	②計画通り進んでいる	絵本を通じた親子のふれあいの一助とするため、初めての読み聞かせに適した絵本のほか、おすすめ絵本リスト、図書館の利用案内を入れたブックスタートパックの配布	B:継続	引き続き事業の充実に努めている。	

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						1 子どもの「居場所」づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
④公園の活用・整備	総合運動公園や都市公園の利用促進を図るとともに、樹木の剪定、害虫の駆除、遊具の補修等を通じて公園の整備・充実を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	利用しやすい環境を維持するため、樹木の伐採・剪定、害虫の消毒等、適切な管理に努めた。	B:継続		いきいき教育課 (総合運動公園分)
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	樹木の剪定、害虫の駆除、老朽化した遊具の更新などを実施し、利用しやすい環境の維持に努めた。	B:継続		街づくり課 (都市公園分)
	誰もが安全・安心に利用できるよう、公園施設の維持管理や巡回を実施し、環境の維持に努めます。	巡回回数 清掃回数 遊具点検の実施回数	1公園あたり約48回 1公園あたり約52回 専門業者による遊具点検1回	②計画通り進んでいる	職員による公園点検や専門業者による遊具点検を実施するなど、誰もが安全・安心に利用できるよう維持管理に努めた。	B:継続		街づくり課
		巡回・清掃:随時 遊具点検:年1回	巡回・清掃:随時 遊具点検:年1回	②計画通り進んでいる	草刈や遊具の修繕を実施し、環境整備に努めた。	B:継続	維持管理を継続し、安全・安心に利用できる環境維持に努める。	保育課 (児童遊園分)
	子育て支援の一環としての公園の利用を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	適切な時期に除草や樹木の剪定等を行い、利用しやすい環境の維持に努めた。	B:継続		街づくり課
⑤保育所の園庭開放	保育所での園庭開放を行い、地域の親子の交流や子育てに関する情報交換の場の提供に努めます。	実施回数 参加人数	なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	B:継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	保育課 (千駄野保育所)
			なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	B:継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	保育課 (ぶりちる)
			なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。	B:継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	保育課 (西保育所)
	出前保育により園児と一緒にふれあい遊びなどを行い、地域の親子の交流や子育てに関する情報交換の場の提供に努めます。	実施回数 参加人数	3回 42人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、園児との交流は行わずに、情報交換の場の提供に努めた。	B:継続	引き続き、園児との交流はせずに情報交換の場の提供として出前保育を行っていく。	子育て支援課 (虹)
⑥さまざまな「子どもの居場所」の確保	遊び場や「居場所」の確保のため、地域の既存の施設及び子ども食堂などの利用や地域の子育て団体の育成に努めます。	継続実施	継続	②計画通り進んでいる	遊び場や「居場所」確保のため、児童館や地域子育て支援拠点等、地域の既存の施設等の利用や地域の子育て団体の育成に努めた。特に東児童館では子育てサークルの支援を行った。こども食堂については、新型コロナウイルス感染症拡大予防の為、弁当の配付を行った。	B:継続	引き続き、遊び場や「居場所」の確保のため、児童館や地域子育て支援拠点等地域の既存の施設等の利用や地域の子育て団体の育成に努める。	子育て支援課
	「子どもの地域活動に関する情報」を収集した上で子育てカレンダーにとりまとめ、子育て家庭に配布します。	収集した情報をまとめた子育てカレンダーの作成・配布の実施	22拠点配布 全4回	②計画通り進んでいる	子育てカレンダーを配布することにより、子育て中の家庭に向けた情報の提供ができた。	D:完了・廃止	ホームページ、広報、だより等で周知できているため廃止する。	子育て支援課 (東児童館・はびちる)

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						2 体験活動が充実した地域づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方角【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①多様な体験・活動型プログラムの提供	さまざまな体験活動を通じて、異年齢・世代間交流や自然とふれあう機会などの提供に努めます。	体験活動の事業回数 参加人数	・田んぼの学校 全2回 延べ18組42名 (5、6月に予定していた田植え体験、田んぼの生き物観察会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。) ・自然観察会 全4回 延べ135名	②計画通り進んでいる	異年齢・世代間の交流や自然とのふれあう機会を提供できた。	B:継続	・田んぼの学校(4回) ・自然観察会(5回のうち1回は田んぼの学校と重複) ・自然ふれあい体験教室 ・わいわい料理教室(2回) ・体験活動事業(わんぱく商店街) ・公立学校開放講座	学び支援課
	各種体験・活動型プログラムなどの参加者のニーズを捉えるとともに、それに対応した事業の提供を図ります。	ニーズに対応した事業回数 参加人数	・わんぱく商店街 令和3年度中止のため、参加せず。 ・自然ふれあい体験教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	②計画通り進んでいる	異年齢・世代間の交流や自然とのふれあう機会を提供できた。	B:継続		
	地域の「教育力」を高めるために、ベアーズリーダー(ボランティア精神を踏まえた有志指導者)や「ベアーズサークル(市内で生涯学習活動をしている団体)」といったベアーズバンクの登録者を拡充し、活用に努めます。	ベアーズバンクの登録数及び講座回数 参加人数	ベアーズリーダー 延べ39人 ベアーズサークル 25団体 ベアーズアカデミー 6講座16回 延べ309人	②計画通り進んでいる	民間レベルでの生涯学習支援の一環として運営している。	B:継続		
②地域における活動への支援	「子ども会育成連絡協議会」、「スポーツ少年団」への補助を継続し、地域における子どもたちの活動を支援します。	支援の状況	補助金の交付 ・子ども会育成連絡協議会 216,000円 ・スポーツ少年団 158,000円	②計画通り進んでいる	「子ども会育成連絡協議会」、「スポーツ少年団」への補助金を交付し、地域における子どもたちの活動を支援できた。	B:継続		いきいき教育課
③スポーツ活動の推進	子どもから高齢者まで誰でも参加できるスポーツ教室を通じて多世代交流を促進するとともに、子どもの健やかな成長を支援します。	スポーツ活動事業回数 参加人数	全6回実施 延べ95人参加	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらスポーツ教室を実施できた。	B:継続		いきいき教育課
	子どもから大人まで参加できる「総合型地域スポーツクラブ」へ広報活動などの支援を継続します。	支援の状況	実施	②計画通り進んでいる	総合型地域スポーツクラブに対し、支援事業、研修会などの情報を提供した。	B:継続		
	学校施設の適切な維持管理に努めるとともに、小中学校の校庭・体育館をスポーツ団体に開放し、スポーツ活動を推進します。	継続実施	延べ 119,467人	②計画通り進んでいる	学校体育施設の適正な維持管理に努め、スポーツ・レクリエーション活動の場を提供した。	B:継続		
④ボランティア活動の促進	地域の子育て力を高めるため、家庭や地域・学校と連携したボランティア活動の推進に取り組めます。	ボランティア事業数 ボランティア人数	6事業中2事業実施 65人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では、安全対策に努め事業の充実を図った。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (東児童館・はびる)
			1事業中1事業実施 54人	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業があった。開催された事業では、安全対策に努め事業の充実を図った。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (西児童館・らぶる)
	学校における「生きる力」を育む教育や道徳教育、特別活動等において、ボランティア活動など社会奉仕の精神を養うことに努めます。	継続実施	道徳教育や、特別活動等を中心に公共の精神や、主体的に社会参画をする力を養った。また、校内外においてボランティア活動に取り組んだ。	②計画通り進んでいる	日々の授業を充実させ、感染症拡大防止に努めながら校内外においてボランティア活動を実施することができた。	B:継続		教育指導課

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						3 子育て家庭の安全な生活の確保		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①交通安全の推進	学校における交通安全教育などを通して、交通事故の防止を図ります。	実施回数	各学校で年間1回以上実施	②計画通り進んでいる	交通安全協会と連携し、交通安全教室を実施するほか、年間を通して適宜指導を行った。	B:継続		教育指導課
	交通安全啓発活動など、交通安全対策を推進します。	交通安全活動回数	広報車による広報活動48回	②計画通り進んでいる	久喜地方交通安全協会白岡支部による広報車を使用した広報活動及び各交通安全運動期間中の啓発品配布等により、交通事故撲滅に努めた。	B:継続		安心安全課
	各行政区と調整の上、危険箇所における交通安全施設の整備・充実や通学路の整備を図ります。	道路環境整備実施数	側溝蓋掛渡工事391.7m 交通安全対策工事3箇所 道路反射鏡設置工事23箇所	②計画通り進んでいる	地域の要望に基づき、必要となる対策を計画的に実施した。	B:継続	本年度も引き続き各行政区等と調整しながら適宜安全対策の実施を進めていく。	道路課
	市内の生活環境保持のため、放置自転車対策を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	自転車等放置禁止区域内を巡回し、放置自転車の啓発指導等を行い、駅周辺における生活環境の保持に努めた。	B:継続		安心安全課
②安心して外出できる環境の整備	誰もが安心して外出できるよう公共施設などのバリアフリー化を推進するとともに、JR東日本に対して駅のバリアフリー化に関する要望活動などを行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	JR東日本に対して駅のバリアフリー化に関する要望活動を行った。	B:継続	引き続き、公共施設や公共交通機関等におけるバリアフリー化を推進するとともに、JR東日本に対して駅のバリアフリー化に関する要望活動を実施する。	企画政策課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	関係機関からの情報を適宜提供した。(ポスター、リーフレットの提示による啓発等)	B:継続		福祉課
	広報紙を活用し、「赤ちゃんの駅」のPRや情報提供を行います。	情報提供回数 赤ちゃんの駅数 赤ちゃんの駅増加数	1回 25か所 0か所	②計画通り進んでいる	広報紙で情報提供を行った。	B:継続	広報紙等で情報提供を行う。	子育て支援課
③子どもを取り巻く有害環境対策の推進	「白岡市青少年に有害な図書等の自動販売機等の規制に関する条例」に基づき、市内のコンビニエンスストアの成人向け雑誌コーナーの陳列に対して抑制を行っていきます。	協力要請	実施	②計画通り進んでいる	市内のコンビニエンスストアの成人向け雑誌コーナーにおける陳列が、条例に沿ったものになっているか調査した。	B:継続		福祉課
	「住みよい地域づくり」の実現に向け、地域・学校・家庭等が連携して青少年を取り巻く健全な環境づくりを図る取組を、引き続き支援します。	活動の支援	実施	②計画通り進んでいる	青少年育成団体に対し、補助金の交付を行った。 補助団体 1件	B:継続		
	学校における情報モラル教育の推進を図るとともに、保護者に対しては広報物を活用した啓発等を実施します。	実施回数	各学校で年間3回以上実施	①計画以上進んでいる	各学校において情報モラル教育について教育課程に位置づけ、計画的に実施した。また、保護者についても、便り等を活用し啓発を行った。	B:継続		教育指導課

I 子どもが安心して成長できる地域づくり						3	子育て家庭の安全な生活の確保		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
④防犯対策の充実	警察や「地域防犯推進委員」と連携し、地域の安全確保に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	久喜警察署及び地域防犯推進委員と連携し、地域の安全確保に努めた。	B:継続		安心安全課	
	危険を感じた際の避難場所としての「子ども110番の家」制度を今後も継続し、子どもを犯罪から守ります。	継続実施	子ども110番の家、防犯パトロールについて継続実施をした。	②計画通り進んでいる	年度末に子ども110番の家についての確認作業を実施した。教育総務課、いきいき教育課と連携し、防犯パトロールを実施した。	B:継続		教育指導課	
	スクールガードリーダーを配置し、児童・生徒の登下校の見守りを実施します。	パトロール回数	1,387回	②計画通り進んでいる	児童・生徒の登校日については、登下校の見守りを依頼した。	B:継続		教育指導課	
	自主防犯組織を支援するとともに、防犯ボランティアとの連携・協力を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	各行政区に対し、防犯活動用資機材(のぼり旗)を配布し、地域の自主的な防犯活動を促進した。	B:継続		安心安全課	
	子ども、保護者等への防犯教育を実施します。	防犯教育研修回数	各学校で実施 合同研修は実施できず	③計画より遅れている	各行政区に対し、防犯活動用資機材を配布し、地域の自主的な防犯活動を促進した。	B:継続		教育指導課	
		防犯教育研修回数 参加人数	各保育所1回実施 参加人数 高岩 46人 西 36人 千駄野20人	②計画通り進んでいる	埼玉県警察本部防犯指導班「ひまわり」による園児向け人形劇等の防犯指導を受けている。	B:継続	警察本部の防犯指導班の指導を受け、子ども、保護者等への防犯教育を実施する。	保育課	
	防犯灯などの防犯施設の整備・充実を図るとともに、道路・公園に死角をつくらないなど、犯罪の起こりにくい環境づくりに努めます。	防犯施設の整備	実施	②計画通り進んでいる	防犯灯の維持管理を行うほか、防犯対策として、行政区からの要望に基づき防犯灯を新設した。	B:継続		安心安全課	
⑤防災対策の充実	災害や火災などから子どもを守るため、市で実施する防災訓練や各保育所、幼稚園、学校で実施する防災訓練・避難訓練などの一層の充実を図ります。	防災訓練回数	避難所設営訓練 3回	②計画通り進んでいる	白岡市総合防災訓練は中止。 市職員、行政区、自主防災組織による避難所設営訓練を実施。	B:継続		安心安全課	
		防災訓練回数	各学校で年間2回以上実施	②計画通り進んでいる	学校行事として年間2回以上行うほか、引取訓練など保護者にも協力を求めた。	B:継続		教育指導課	
		防災訓練回数	各保育所月1回実施	②計画通り進んでいる	消防署立会訓練は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。月1回防災教育、避難訓練を行った。また、職員の消火訓練を年2回行った。	B:継続	消防署立会による災害や火災などから子どもを守るため、各保育所での防災訓練・避難訓練等のいっそうの充実を図る。	保育課	
	保育施設、教育施設の整備・点検を推進します。	継続実施	校舎等安全点検を各学校で年2回以上実施。 特に市立中学校3校の外壁については、赤外線と打診を併用した劣化状況調査を実施し、結果を受けて2校の補修工事を実施した。 遊具等については隔年での点検を実施。	②計画通り進んでいる	施設・設備の安全性が確保され、教育環境の保全が図られた。	B:継続	老朽化した施設の安全性確保のための点検を実施し、効率的な修繕に努めている。 市立小学校2校の外壁については、赤外線と打診を併用した劣化状況調査を実施する。 また、遊器具等の点検については、隔年で実施し、老朽化の酷い遊器具等については更新・修繕を実施していく。	教育総務課	
		継続実施	児童館の消防用設備等の整備・点検を継続実施	②計画通り進んでいる	施設の状況を把握し、安全な施設づくりにつなげることで、防災対策(減災)の充実を図ることができた。	B:継続		子育て支援課	
		継続実施	消防用設備等の整備・点検を継続実施	②計画通り進んでいる	施設の状況を把握し、安全な施設づくりにつなげることで、防災対策(減災)の充実を図ることができた。	B:継続		保育課	
	防災情報や人命に関わる情報を円滑に伝えるべく、防災行政無線や白岡市安心安全メールサービスの普及・啓発など、情報伝達体制の充実に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	広報紙や市公式ホームページ等により周知し、情報伝達体制の充実に努めた。	B:継続		安心安全課	
	白岡市内の保育所、小・中学校などで給食用食材の放射性物質の測定事業を引き続き行います。	継続実施	市立保育所の給食食材2種類について隔月(年6回)実施	②計画通り進んでいる	食材に含まれる放射性物質の検査により、安心安全な給食を提供することができた。	D:完了・廃止	東日本大震災から10年以上が経過し、これまでの間1度も放射性物質が検出されなかったことを受けて事業完了とした。	保育課	
		継続実施	2回/学期	②計画通り進んでいる	放射性物質測定を実施することで、学校給食用食材の安全性を確認することが出来た。	D:完了・廃止	過去10年間実施しているが、放射性物質が検出されていないことにより、検査を終了とする。	教育総務課	

II 子どもの健康と福祉の地域づくり						1	子どもと親の健康づくりの推進	
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①子ども・母親の健康の確保	不育症検査、不妊検査及び不妊治療を受けている方に対して、適切な医療を受けることができるよう費用の軽減などの支援に努めます。	助成者数	不妊治療費助成 56件 不妊検査費助成 9件 不育症検査費助成 2件	①計画以上進んでいる	市広報・市HP、保健所に協力を依頼し、広報に努めた結果、必要な人への助成が行われることで、子どもを持ちたいかたへの経済的負担の軽減がなされた。	C:見直し・改善	・令和4年度から不妊治療が保険適応になったため、治療費に対するの助成は終了。県の助成決定を受けている者・検査費助成については継続。	健康増進課
	母子健康手帳交付時における資料の配布などによって、妊娠中の健康管理や母子保健事業などの啓発を図るとともに、交付時にアンケートを実施し、適宜保健師などの専門職が対応できるよう努めます。	交付数 面接人数	母子健康手帳交付数 355人 交付時面接人数 390人	②計画通り進んでいる	母子健康手帳交付時に、全ての妊婦に保健師等の専門職が面接を行い、妊婦の生活状況などを確認しその後の支援につなげた。 妊娠・育児についての資料の配布、必要な支援情報の紹介・説明を行った。	B:継続		
	「母親学級(両親学級)」などの学習機会を充実させることで妊娠・出産・育児に関する知識の普及を図るとともに、各種相談の実施により出産・子育てに臨む親の不安解消や支援に努めます。	母親・両親学級実施回数・参加人数 各相談事業実施回数・相談人数	母親・両親学級 2日コース×4回 1日コース×11回 母親：延べ97人、父親：70人 乳幼児健康相談：24回 延べ288人 乳幼児栄養相談：12回 延べ52人 離乳食教室：12回 延べ37人 フォロー相談：24回 延べ86人 乳幼児クリニック：6回 21人 ことばの教室：36回 延べ123人	②計画通り進んでいる	母親・両親学級を実施し、妊娠・出産・育児の知識の普及が図られた。 各相談事業を実施することで、出産・子育てをする親の支援を行い、育児不安等の軽減が図られた。	B:継続		
	入院を必要とする未熟児に対して、養育医療制度を活用し、適切な医療を受けることができるように費用の軽減などの支援に努めます。	申請件数	19人	②計画通り進んでいる	養育医療制度を活用し、保護者の窓口負担が生じないように対応した。	B:継続		
	乳児全戸訪問事業、乳幼児及び妊婦健康診査や妊婦などへの保健指導、各種定期予防接種等を通じて異常の早期発見、早期治療、育児支援等を図り、子どもと母親の健康の確保に努めます。	訪問人数 健診受診者数 予防接種件数	訪問指導：延べ478人 妊婦健康診査(1人当たり14回)：4601件 新生児聴覚検査： ABR 312人 OAE 42人 産後ケア事業：5人 4か月児健康診査：378人(97.9%) 10か月児健康診査：389人(97.9%) 1歳6か月児健康診査：400人(98.5%) 3歳児健康診査：438人(96.6%) 2歳6か月児歯科健康診査：237人(57.5%) 予防接種(延べ人数) ロタ 863人 H i b 1,535人 小児用肺炎球菌 1,530人 四種混合 1,551人 B C G 384人 麻疹風しん1期 379人 2期 432人 水痘 767人 日本脳炎 1,119人 二種混合2期 405人 B型肝炎 1,130人 子宮頸がん 72人 大人の風しん 15人	①計画以上進んでいる	妊婦健康診査の助成を行うことで、健診費用の心配をすることなく受診する機会が確保され、母と胎児の健康の確保がなされた。 新生児聴覚検査の助成も開始され、聴覚障害の早期発見・早期療育につながる体制づくりが図られた。 産後に心身の不調のある母に対しては、産後ケア事業を紹介し利用につなげた。 乳児家庭全戸訪問事業、乳幼児健康診査等により、異常の早期発見・早期治療・育児支援を行うことで子どもと母親の健康の確保がなされた。 定期予防接種を実施することにより、費用負担の軽減と感染症予防がなされた。	A:拡大・充実	・令和4年度から、妊婦歯科健康診査を開始し、妊婦の早産の予防や口腔衛生の意識の向上につながるきっかけとなる。 ・産婦健康診査も開始となり、産後うつ等の早期発見・予防につながる。	
薬物、喫煙、アルコール、小児生活習慣病等の防止のため、食育などの教育課程の一環として、各学校で指導を行います。	健康教育の回数	各学校において年間1回以上実施	②計画通り進んでいる	教科学習の時間を中心に各学校において1時間以上実施した。	B:継続		教育指導課	
子どもの体力向上を目指すべく、体力向上推進委員会を開催し、各学校で指導を行います。	実施回数	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全大会の開催はできず、保健部会のみ実施をした。	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定通りの実施ができなかった。	C:見直し・改善	体育部会、保健部会で分けて開催するなど、今後は会の運営を工夫しながら実施していく。		

II 子どもの健康と福祉の地域づくり						1	子どもと親の健康づくりの推進		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
②「食育」の推進	乳幼児健康診査及び乳幼児栄養相談時に、各家庭に寄り添った指導の充実、乳幼児の食事に関する啓発資料及び食育計画に基づき作成した白岡オリジナル健康レシピbookの配布を実施します。	実施回数	乳幼児健康診査時栄養相談 各健診月1回 乳幼児健康相談 12回 延べ52名 健康レシピBOOKの配布	②計画通り進んでいる	感染症対策を行ったうえで事業を実施し、各健診に合わせた、離乳食教室冊子・幼児期の食事内容のチラシの配布することが出来た。 また、個別相談を通じて、発達段階にあった食育の推進ができた。 第2次はびすイッチプラン(食育計画を含む)に基づき、白岡オリジナル健康レシピブックを配布するなどし、食育の更なる充実を図ることができた。	B:継続		健康増進課	
	定期的なクッキングイベントの開催、乳幼児期の食生活に関する講話の実施、おやつを試食などによって、「食育」などに対する知識の普及を図ります。	教室等回数 参加人数	離乳食教室 4か月児健診時月1回 離乳食教室(初期～完了期) 延べ11名 のびのび教室でのレシピの配布	②計画通り進んでいる	人数の制限や試食の中止等、感染症対策を行ったうえで事業を実施することができた。	C:見直し・改善	・離乳食教室時の食育資料の配布を検討する。(食べることの重要性、食への興味を持たせるための保護者の対応方法などを記載する)		
			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業内容を「食育」以外に変更し実施した。	B:継続	感染状況を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			1事業実施 73人	③計画より遅れている	畑作りから収穫までをとおして食べ物の大切さを学んだ。	B:継続	感染状況を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業内容を「食育」以外に変更し実施した。	B:継続	新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため別事業を実施することとした。感染状況を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	保育課 (ぶりちる)	
			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全て中止。	B:継続	感染状況を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課 (虹)	
	健康増進計画の一環として、食生活改善推進員協議会、母子愛育会などの各団体同士で協同し、食生活に関する健康づくり活動を支援します。	継続実施	感染症対策のため、従来実施していたコロボ事業は縮小した。 のびのび教室にておやつレシピの提供。	③計画より遅れている	感染症対策として、従来実施していたおやつ提供や白岡まつりの参加など調理を行うコロボ事業が実施できなかった。 食生活改善推進員協議会の事業も調理実習等が実施することが出来なかった。	C:見直し・改善	・感染症対策を講じた上で、調理実習ができるように調整する。 ・生涯を通じた食育の実施内容について、検討する。	健康増進課	
	各学校の給食の時間や家庭科及び保健などの時間を通じて、「食育」に関する指導を行います。	指導時間	各学校、各学年において年間1回以上実施	②計画通り進んでいる	食育の指導計画を作成し、各学年において1時間以上実施した。	B:継続		教育指導課	
	各学校の家庭科や校外行事、総合的な学習などの時間を通じて、食事づくりの体験を実施するなど、学校における「食育」の継続・充実を図ります。	継続実施	行事での食事作りは感染拡大防止の観点から見合わせた が、家庭科の学習においては、方法を工夫して実施した。	③計画より遅れている	校外行事、総合的な学習の時間においては、食事づくりの体験を実施することはできなかった。	C:見直し・改善	食事作り以外の形での食育の充実について、さらなる検討を行っていく。	教育指導課	
	③小児医療の充実	白岡市休日診療事業の一環として、関係機関との連携体制を取りながら、第1次(初期)緊急医療の維持・推進について検討します。	継続実施	市医師会に委託し、白岡中央総合病院で休日(日曜日、祝日、年末年始)9時～12時に初期救急を実施。	②計画通り進んでいる	白岡市休日診療事業として、初期救急医療が維持された。	B:継続		
埼玉県の救急電話相談について、乳幼児健診などで周知し推進に努めます。		継続実施	乳児家庭全戸訪問事業時や各乳幼児健診等の機会を利用し、救急電話相談についての冊子やカードを配布し周知している。	②計画通り進んでいる	埼玉県の救急電話相談について、周知がなされた。	B:継続		健康増進課	
利根保健医療圏における輪番制により、第2次救急医療の24時間対応体制の維持・推進に努めます。		継続実施	平日夜間及び休日の救急医療について、輪番体制を取り対応している。	②計画通り進んでいる	東部北地区医療圏における3病院の輪番制により、第2次救急医療体制が図られた。	B:継続			

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						2 障がい児と家庭への支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①障がいの早期発見・早期対応	母子保健などの施策として乳幼児健診などを行い、発育・発達について経過観察が必要な乳幼児の早期発見に努めます。また、支援事業への連携体制の拡充や、継続的支援・親の支援の充実を図ります。	対応事業 対応人数	乳幼児健診の実施 各健診月1回 新生児聴覚検査 再検査2人 乳幼児健康相談： 24回 延べ288人 フォロー相談： 24回 延べ86人 乳幼児クリニック： 6回 延べ21人 ことばの教室： 36回 延べ123人 のびのび教室： 20回 延べ119人	①計画以上進んでいる	乳幼児健診などにおいて、発育・発達について経過観察が必要な児の早期発見に努め、必要時は支援事業への参加を促した。また必要がある児に対しては医療受診を促し継続支援を図った。 新生児聴覚検査の助成が開始され、聴覚障害の早期発見・早期療育につながる体制づくりが図られた。	B:継続		健康増進課
②療育相談・指導、情報提供の充実	療育支援が必要な障がい児などに対する相談・指導体制の充実を図ります。特に就学相談に関しては、就学年齢に限らず年間を通じて受け付けるよう体制を整えます。	対応数	就学相談の実施(18人)	②計画通り進んでいる	就学年齢に限らず早期からの相談に対応した。	B:継続		教育指導課
			乳幼児健診の実施 各健診月1回 乳幼児健康相談： 24回 延べ288人 フォロー相談： 24回 延べ86人 乳幼児クリニック： 6回 延べ21人 ことばの教室： 36回 延べ123人 のびのび教室： 20回 延べ119人	②計画通り進んでいる	支援が必要な児について、支援事業への参加を促した。また必要がある児に対しては、医療受診を促し継続的支援を図った。 保護者と相談を重ねることで、保護者の就学に対する不安が軽減した。	B:継続		健康増進課
			実施	②計画通り進んでいる	相談を受け付けた際に対応機関の紹介をした。	B:継続	相談を受け付けた際に対応機関の紹介を行う。	子育て支援課
			実施	②計画通り進んでいる	療育手帳の取得等適宜相談に応じ、必要なサービス等を案内した。	B:継続		福祉課
	医療・保健・福祉・教育の連携強化を図るとともに、必要時においては、児童の支援事業への参加や適切な医療受診をできるように体制を拡充します。	継続実施	関係各課と連携を図り、適正に相談を行った。	②計画通り進んでいる	関係各課からの情報を得て、適正に就学相談を行った。	B:継続		教育指導課
			他課・小学校と、就学児についての情報交換会を実施	②計画通り進んでいる	教育機関と連携し情報交換会を実施することで、児にとってより良い就学につながった。 保護者と相談を重ねることで、保護者の就学に対する不安が軽減した。	B:継続		健康増進課
			実施	②計画通り進んでいる	相談を受け付けた際に対応機関の照会をした。	B:継続	相談を受け付けた際に対応機関の紹介を行う。	子育て支援課
			実施	②計画通り進んでいる	療育手帳の取得等適宜相談に応じ、必要なサービス等を案内した。	B:継続		福祉課
	関係各課と連携を取り、情報提供や相談対応を充実させ、障がいのある児童・生徒の適正な就学、教育を推進します。	対応数	就学相談の実施(18人)	②計画通り進んでいる	関係各課からの情報を得て、適正に就学相談を行った。	B:継続		教育指導課

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						2 障がい児と家庭への支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
③障がい児保育・教育の充実	保育所、幼稚園における障がい児の受け入れを継続し、障がい児保育・教育を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障がい児の受け入れを実施した。	B:継続	障がい児の受け入れを継続する。	保育課
	児童・生徒の適切な就学を実現するべく、就学支援委員会にて適正に判断を行うとともに、巡回相談や希望相談を通して、学校や保護者の支援を行います。	継続実施	就学支援委員会実施回数4回 巡回相談全校各1回実施	②計画通り進んでいる	就学支援委員会にて適正に情報提供を行うとともに、巡回相談を通して学校や保護者の支援を行った。	B:継続		教育指導課
	障がいの有無にかかわらず、学校における交流学習や体験学習などを通じて、子ども同士の交流を促進します。	継続実施	全校で実施	②計画通り進んでいる	各学校において交流学習や体験学習を実施した。	B:継続		教育指導課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障がい児の受け入れのあった保育所において、子ども同士の交流の促進を図った。	B:継続		保育課
④福祉サービスの充実	障がい児の生活支援と保護者の負担軽減のため、各種補助金や、補装具交付などの福祉サービスの充実を図ります。また、重症心身障害児などの家族に対するレスパイトケア事業補助金交付事業の周知・推進を図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	相談に応じ、必要なサービスの案内、支給決定等をした。	B:継続		福祉課
	障がいのある方の日常生活上の支援のため、埼玉県内に営業所を持つタクシーなどに対する福祉タクシー利用料等の助成、障害児福祉手当、特別児童扶養手当、公共料金の割引等の支援を行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障害の程度により、対象となるサービスや手当等を案内し、支給した。	B:継続		福祉課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当を支給した。	B:継続	引き続き、対象者へ適正な支給を行う。	子育て支援課
	重度心身障害者医療費支給事業を実施し、適宜事業の案内や医療費の一部負担金の支給などを行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障害の程度により、対象となる方に適宜事業の案内をし、医療費の一部負担金を支給した。	B:継続		福祉課

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						3 ひとり親家庭への支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4度】	左の補足説明	担当課
①経済的支援制度等の充実	ひとり親家庭などへ「児童扶養手当」、「ひとり親家庭等医療費支給」を支給します。	受給資格者数(支給停止者を含む)	児童扶養手当：306人 ひとり親家庭等医療費：317人 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親に対し、その実状を踏まえた生活の支援を行う観点から「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給することができた。 ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分) ・児童1人当たり：50,000円	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当等を支給することができた。	A:拡大・充実	引き続き、対象者に対して適正な支給を行う。 前年度同様「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給する。 ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分) ・児童1人当たり：50,000円 ひとり親医療費については、令和5年1月診療分から県内現物給付方式を開始する。また、従来受給者が市県民税課税者についての自己負担金(入院の場合：入院1日につき1,200円、通院の場合：1医療機関につき1か月1,000円)を廃止し、更なる保健の向上及び福祉の増進を図る。	子育て支援課
	ひとり親家庭の経済的自立促進を図るため、就業に必要な資格取得の給付金として、「自立支援教育訓練給付金」、「高等職業訓練促進給付金」の支給し、制度の周知を図ります。	給付金申請者数	自立：0人 高等：2人	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当等を支給した。	B:継続	引き続き対象者に対して適正な支給を行う。	
	就学援助制度や県営住宅、学童保育料の免除等の支援制度について、広報紙やパンフレットの配布、ホームページなどを通して、制度の概要と申請方法の周知活動に努めます。	周知状況	広報紙及びホームページに記事を掲載、昨年度受給者に申請に係る通知を送付	②計画通り進んでいる	広く制度を周知するため、制度の概要と申請方法を記載したパンフレットを作成し、配布及びホームページへの公開を行った。 また、継続的な援助を実施するため、昨年度受給者に通知及び作成したパンフレットを送付した。	B:継続		教育指導課
		継続実施	学童保育所入所案内等に、就学援助制度等該当者は、保育料免除の対象となることを記載し、入所希望者に制度を周知している。	②計画通り進んでいる	就学援助該当等による 学童保育料免除者62人	B:継続		保育課
		県営住宅のパンフレット配布、案内	年4回実施	②計画通り進んでいる	例年通り県から送付されるパンフレットを建築課窓口と白岡駅連絡所に設置し、配布した。	B:継続		建築課
		周知状況 通知配布件数	広報紙に掲載及び窓口にチラシを設置	②計画通り進んでいる	広報紙への掲載、子育て支援課窓口にてチラシを置くことで、制度の周知を図ることができた。	B:継続	広報紙を活用し周知を図るとともに、児童扶養手当現況届の送付時等にチラシを同封し積極的に周知を図る。	子育て支援課
②相談指導体制の充実	相談窓口の設置や支援体制に関する情報収集を行い、ひとり親家庭の悩みや不安の解消に努めます。	相談実人数	7人	②計画通り進んでいる	適時相談。関係機関のチラシや情報収集を行った。	B:継続	適時相談。関係機関のチラシや情報収集を実施する。	子育て支援課
	「女性の相談室」において、母子家庭や今後ひとり親になる可能性のある家庭の生活などの不安や悩み相談に対応します。	実施回数	女性の相談室 24回	②計画通り進んでいる	毎月2回の相談において、ひとり親になる可能性のある女性も含め、生活等の不安や悩みの解消に努めた。	B:継続		地域振興課

II 子どもの健康と福祉の地域づくり						4	児童虐待を防止する体制づくりの推進	
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①子どもの人権の尊重・保護	「家庭教育学級」やPTAの講座などの各種研修会を実施し、家庭や地域の教育力の向上を図ります。	活動回数 参加人数	家庭教育学級合同講座2回 視聴者数1,538人 家庭教育学級委託実施講座 各校合計16回 参加者数1,025人	②計画通り進んでいる	年2回実施している市教育委員会主催の家庭教育学級合同講座については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から動画配信形式とし、PTA役員だけではなく、多くの保護者の方に視聴いただけた。 また、各小・中学校に委託している「家庭教育学級」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続き実施回数は少ないが、各小・中学校においてコロナ禍における工夫した講座を実施し、家庭や地域の教育力の向上が図られた。	B:継続	コロナ禍においても実施できる方法を引き続き検討し、動画配信形式やオンライン形式だけではなく、ハイブリッド形式の講座も検討する。	いきいき教育課
	人権擁護委員と連携して、子どもの人権の尊重・保護を図ります。	活動回数	人権相談 9回	②計画通り進んでいる	人権相談において、保護者や地域の方からの子どもに関する相談、SOSミニレターでの子どもからの悩み相談を受ける体制をとった。	B:継続		地域振興課
②虐待の発生予防	産科などの医療機関及び関係課との連携により、特定妊婦の把握に努め、支援の充実を図ります。	対応人数 会議回数	妊娠届出時に専門職による面接・アンケートの実施:390人 子育て支援課とのリスク判定定例会議:11回 産科医療機関との連携会議:2回 養育支援連絡票数:延べ85件	②計画通り進んでいる	妊娠届出時に、専門職が全数面接を実施した。面接内容からアセスメント基準に沿ってリスク判定をし、リスク中以上の場合は子育て支援課と定例会議を行い、情報共有を行った。 産科医療機関と会議や連絡票から、妊婦の生活状況の把握に努め、必要な支援を行った。	A:拡大・充実	令和4年度から産婦健診が開始となり、こころの健康チェックも行われることから、さらに産後うつ予防や虐待予防の体制づくりが図られる。	
	乳児家庭全戸訪問事業や、乳幼児健診を活用した個別相談及び情報提供を行うとともに、健診未受診者を対象とした家庭訪問などを実施し、支援が必要な家庭を適切な機関につなげます。	対応事業 対応人数	訪問数:延べ492人 (うち健診未受診者延べ11人) 乳幼児健診の実施 各健診月1回 乳幼児健康相談: 24回 延べ288人 乳幼児栄養相談: 12回 延べ52人 フォロー相談: 24回 延べ86人 乳幼児クリニック: 6回 延べ21人 ことばの教室: 36回 延べ123人 のびのび教室: 20回 延べ119人	②計画通り進んでいる	様々な機会を利用し、育児不安・育児困難のある保護者には、継続支援を行っている。また必要なケースについては他課に報告、連携し対応している。 健診未受診者について、電話や家庭訪問などで生活状況の確認を実施している。	A:拡大・充実	赤ちゃん訪問時に、全数に対し産後うつ質問指標(EPDS)を実施し、産後うつの予防を図り、必要な支援を実施し、虐待予防につなげる。	健康増進課
児童虐待防止キャンペーンの実施や、県主催の研修会などを通じて、職員の人材育成に努めます。	活動件数 研修参加回数・人数	活動件数 1件 研修 0回	②計画通り進んでいる	白岡駅及び新白岡駅で児童虐待防止キャンペーンを実施し、啓発品の配布をした。また、保育園、幼稚園、小・中学校等に啓発品の配布をした。	B:継続	児童虐待防止キャンペーンでの啓発品配布や県主催の研修に参加し、人材の育成に努める。	子育て支援課	
社会科や道徳等を通して子どもの権利条約の理解などの人権教育を行うことで、将来児童・生徒が児童虐待の加害者とならないよう、未然の防止を図ります。	継続実施	人権教育の推進を行った。	②計画通り進んでいる	子どもの権利条約の理解など、社会科や道徳を通して人権教育を行った。	B:継続		教育指導課	
保護者会や保健委員会等を通じた、保護者への意識啓発と相談活動を推進します。	継続実施	教育委員会より学校を通して、啓発依頼を行った。	②計画通り進んでいる	教育委員会より各学校へ適宜情報提供を行い、啓発を行った。	B:継続			
地域の家庭の実態把握や情報の提供、相談対応、要保護児童及び要支援児童への、より専門的な支援業務等を行う「市町村子ども家庭総合支援拠点」の設置を検討します。	継続実施	令和4年4月1日に設置に向けて準備。	②計画通り進んでいる	令和4年4月の設置に向けて、予算措置及び人員確保等に努めた。	B:継続	令和4年4月に子育て支援課窓口に「子ども家庭総合支援拠点」を設置した。	子育て支援課	

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						4	児童虐待を防止する体制づくりの推進	
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
③虐待の早期発見・早期対応	各関係機関の相互の連携を図り、いじめや虐待の早期発見・早期対応に努めます。ハイリスクケースにおいては、家庭訪問や電話連絡などの積極的な対応を行います。	継続実施	校長会、教頭会をとおして、早期発見を依頼した。関係機関からの情報を速やかに各小中学校へ周知した。	②計画通り進んでいる	疑いのある情報等について、各学校、関係機関と連携を図り、児童生徒の安否確認等の対応にあたった。	B:継続		教育指導課
		継続実施	医療機関からの連絡、家庭訪問や各健診等により把握されたハイリスクケースについて対応を行った	②計画通り進んでいる	ハイリスクケースに対して、家庭訪問や電話を行い、必要なケースについては他課と情報共有・連携して対応した。	B:継続		健康増進課
		継続実施	各保育施設内でいじめや虐待の疑いのある児童について、各保育施設からの速やかな情報提供を得ることで、関係各機関への報告連絡を速やかにを行い、早期対応に努める。	②計画通り進んでいる	令和3年度については、各保育施設において該当するような案件の発生がなかったため、対応はなかった。	B:継続		保育課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関との連携を図り、いじめや虐待の早期発見・早期対応に努めた。	A:拡大・充実	県から市町村支援専門員の派遣を受け、虐待ケースの対応と関係機関との連携方法など指導を受ける。子ども家庭総合支援拠点を設置し、見守り強化事業を実施する。	子育て支援課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	障害者虐待防止法に基づく通報等に対応をした。	B:継続		福祉課
	地域の虐待の早期発見・早期対応に努めるため、民生委員・児童委員と連携を図るとともに、必要に応じた地域の見守りなどを推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	適宜情報の提供、共有に努め、必要に応じて地域の見守り等を依頼している。	B:継続		福祉課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関との連携を図り、いじめや虐待の早期発見・早期対応に努めた。	B:継続	引き続き、地域の虐待の早期発見・早期対応に努めるため、民生委員・児童委員との連携を図る。	子育て支援課
	子育て世代包括支援センターと定期的な情報交換を行い、支援の必要な特定妊婦など、妊娠前から切れ目のない支援を行います。	対応人数 会議回数	妊婦届出時に専門職による面接・アンケートの実施:390人 子育て支援課とのリスク判定定例会議:11回 産科医療機関との連携会議:2回 養育支援連絡票数:延べ85件	②計画通り進んでいる	妊婦届出時に、専門職が全数面接を実施した。面接内容からアセスメント基準に沿ってリスク判定をし、リスク中以上の場合は子育て支援課と定例会議を行い、情報共有を行った。産科医療機関と会議や連絡票から、妊婦の生活状況の把握に努め、必要な支援を行った。	B:継続		健康増進課
④「要保護児童対策地域協議会」の充実	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関が連携した「要保護児童対策地域協議会」を中心に、児童虐待の発生防止と早期発見、迅速対応を図ります。	会議回数 進行管理件数	4回 77人(第4回実務者会議時点)	②計画通り進んでいる	児童相談所、学校、警察、医療機関等、地域の関係機関が連携して、「要保護児童対策地域協議会」の充実を図った。	B:継続		子育て支援課
	必要時の個別ケース検討会議において、情報共有、定期的なフォローを行うなど、進行管理、支援体制の強化を図ります。	会議回数 対象ケースの数	20回 44人	②計画通り進んでいる	必要な時に必要な関係者による個別ケース検討会議において、情報共有、定期的なフォローを行うなど、進行管理、支援体制の強化を図った。	B:継続	引き続き、必要時に個別ケース検討会議を開催する。	
⑤被害に遭った子どもへの支援	各学校の「さわやか相談員」、市教育相談室、各関係機関などが相互に連携し、いじめや児童虐待を受けた子どもを対象としたカウンセリング、保護者への相談体制などを一層充実させます。	継続実施	関係各課と連携して支援にあたった。	②計画通り進んでいる	事例に応じて、相談員やカウンセラーが対応できる体制を整えた。	B:継続		教育指導課
		継続実施	継続	②計画通り進んでいる	各関係機関と連携をとり、きめ細やかな支援を実施した。	B:継続	各関係機関と連携をとり、きめ細やかな支援を実施する。	子育て支援課
⑥養育支援訪問事業の確保	養育支援が特に必要であると判断した家庭に対し、保健師などの家庭訪問やホームヘルパーの派遣などの支援を行います。	実施件数 日数	3件(実人数) 74日	②計画通り進んでいる	支援が必要な家庭へ家事援助を検討し、養育支援訪問事業を実施した。	B:継続	今後も健康増進課と連携して、支援の必要な家庭への養育支援訪問事業を実施する。	子育て支援課

Ⅱ 子どもの健康と福祉の地域づくり						5	貧困の状況にある子どもへの支援	
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①教育支援	生活困窮世帯や生活保護世帯の中学生を対象に、高校進学及び中退防止を目的に学習支援を行います。	継続実施	毎週土曜日	②計画通り進んでいる	学習支援教室を開催し、高校進学及び中退防止を図った。	B:継続		福祉課
		継続実施	関係各課との連携、SSW、臨床心理士との連携を図り、対象の中学校生徒へ周知を図った。	②計画通り進んでいる	学習支援教室への通室につながった。	B:継続		教育指導課
	経済的理由により授業料・入学料の納入が困難な生徒や所得が一定以下の世帯に対し、授業料などの負担を軽減することで、就学機会の確保を図ります。	継続実施	入学準備金 1件(高校)18万円 1件(大学)31万円 1件(専門)31万円	②計画通り進んでいる	申請者3名	B:継続		教育総務課
	低所得者世帯の保育所及び認定こども園の利用者負担の軽減に努めることで、低所得世帯の子育てを支援します。また、幼児教育の質の向上や地域子育て支援の取組を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	所得に応じた保育料を設定することで、低所得者の保育所利用の負担を軽減するとともに、給食費についても減免制度を設けることで、配慮した。	B:継続		保育課
	経済的理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、給食費や学用品費など就学に必要な費用の援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施を図ります。	継続実施	各学期	②計画通り進んでいる	経済的な理由で就学が困難な家庭に対し、学校給食費や学用品費等の就学に必要な経費の一部を援助することができた。 また、交付金を活用し、新型コロナウイルスに係る臨時給付金として1万円の上乗せ支給を実施することができた。	B:継続		福祉課
②生活支援	生活困窮世帯や生活保護世帯の保護者を対象にした自立支援の取組を推進します。	給付金申請者数	自立:0人 高等:2人	③計画より遅れている	対象者に適正な手当を支給したが、自立支援については、申請者は0人となった。	B:継続	給付金の周知や、引き続き対象者に対して適正な支給を行う。	子育て支援課
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	生活全般にわたる困りごとについて相談に応じ、解決に向けた支援を図った。	B:継続		福祉課
③保護者への就労支援	生活困窮世帯や生活保護世帯の保護者を対象とした就労支援の充実を図ります。	継続実施	月2回	②計画通り進んでいる	ハローワーク巡回相談を月2回開催する他、必要に応じて随時就労支援を行い、経済的自立を図った。	B:継続		福祉課
④経済的支援	児童扶養手当の支給、福祉資金の貸し付けなどにより、経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭を支援します。	受給資格者数(支給停止者数含む)	児扶受給者:306人 また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給することができた。 ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分) ・児童1人当たり:50,000円	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症の中で経済的に影響を受けるひとり親家庭等に給付金を支給することができた。	B:継続	引き続き必要な世帯に対し適正に支給を行う。 令和4年度についても「子育て世帯生活支援特別給付金」を支給する。 ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分) ・児童1人当たり:50,000円	子育て支援課
	ひとり親家庭等医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を行います。	受給資格者数(支給停止者数含む)	受給資格者:317人	②計画通り進んでいる	対象者に適正な手当を支給した。	B:継続	引き続き必要な世帯に対し、適正に支給を行う。 ひとり親医療費については、令和5年1月診療分から県内現物給付方式を開始する。また、従来受給者が市県民税課税者についての自己負担金(入院の場合:入院1日につき1,200円、通院の場合:1医療機関につき1か月1,000円)を廃止し、更なる保健の向上及び福祉の増進を図る。	

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						1 家庭・地域の「教育力」の向上		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①家庭教育への支援の充実	家庭の「教育力」の向上を図るため、小中学生の子どものいる親を対象とした「家庭教育学級」を、ボランティアやNPOと連携しながら定期的に開催します。また、父親の参加などを促進することで、より一層の知識の普及に努めます。	活動回数 参加人数	家庭教育学級合同講座2回 視聴者数1,538人 家庭教育学級委託実施講座 各校合計16回 参加者数1,025人	②計画通り進んでいる	年2回実施している市教育委員会主催の家庭教育学級合同講座については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から動画配信形式とし、PTA役員だけではなく、多くの保護者の方に視聴いただけた。 また、各小・中学校に委託している「家庭教育学級」については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に引き続き実施回数が少ないが、各小・中学校においてコロナ禍における工夫した講座を実施し、家庭の「教育力」の向上が図られた。	B:継続	コロナ禍においても実施できる方法を検討し、動画配信やオンライン等で実施していく。	いきいき教育課
	地域子育て支援拠点で実施している「育児講座」を継続し、乳幼児の救急に関する知識の啓発や「親子体操」などを実施します。	参加人数	はびちる…70人 らぶちる…58人 ぷりちる…6人 虹 ……55人	②計画通り進んでいる	利用者のニーズに合うように多様なテーマで講座を実施した。	B:継続		
	親が学ぶ講座や、親子で楽しんで学べる講座、リフレッシュ講座等、多様なテーマで講座を実施します。	参加人数	はびちる…93人 らぶちる…84人 ぷりちる…52人 虹 ……42人	②計画通り進んでいる	リフレッシュ講座や学べる講座など多様なテーマで講座を実施した。	B:継続		子育て支援課
	各教室で妊娠・出産・育児についての講話を行い、育児に関する知識の普及、事故防止についての啓発を実施します。	実施回数 参加人数	母親・両親学級 2日コース×4回 1日コース×11回 母親：延べ97人、父親：70人 離乳食教室： 12回 延べ37人 のびのび教室の中でミニ育児講座の実施：15回 延べ92人	②計画通り進んでいる	妊娠・出産・育児についての講話を行うことで育児等についての知識の普及が図られた。	B:継続		健康増進課

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						1 家庭・地域の「教育力」の向上		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
②地域の「教育力」の向上	「ウィークエンドいきいき体験活動事業」の一環として、自然環境の活用や、人と自然との関わり、農業などを学びつつ、異年齢・世代間の交流の場としてプログラムの提供に努めます。	事業回数 参加人数	・田んぼの学校 全2回 延べ18組42名 ・自然観察会 全4回 延べ135名	②計画通り進んでいる	「ウィークエンドいきいき体験活動事業」の一環として「田んぼの学校」、「自然観察会」を実施し、自然環境を活用するだけでなく、人と自然との関わりを含めたプログラムを提供することができた。	B:継続	・田んぼの学校(4回) ・自然観察会(5回のうち1回は田んぼの学校と重複) ・自然ふれあい体験教室 ・わいわい料理教室(2回) ・体験活動事業(わんぱく商店街) ・公立学校開放講座	学び支援課
	「環境学習会」を開催し、課外授業を通じた体験・見学などを行い、環境やエネルギーの問題、リサイクルについて学ぶ機会を提供します。	参加人数	参加人数 ・環境学習会 0人 ・COOL CHOICE エコカー試乗会 49人 エコドライブ講習会44人 ストラックアウト160人 コミックサイエンスショー 115人	②計画通り進んでいる	環境問題への関心度を高めるための企画であり、幅広い分野の「環境」に関する施設やテーマを検討して事業を開催している。 令和3年度の環境学習会については中止したが、「COOL CHOICE(賢い選択)普及啓発事業」として、エコドライブ講習会、COOL CHOICEストラックアウト、コミックサイエンスショーなどの事業を実施したため、計画通り進んでいるとした。	B:継続	令和3年度の環境学習会については開催を中止としたが、令和4年度は実施予定である。 また、「COOL CHOICE(賢い選択)普及啓発事業」として、コミックサイエンスショーなどの事業を継続して実施する。	環境課
	教育環境の整備を行い、ペアーズバンクに登録した地域の人材が指導者として活躍できるような体制の確立に努めます。	登録者数	ペアーズリーダー 延べ39人 ペアーズサークル 25団体	②計画通り進んでいる	民間レベルでの生涯学習支援の一環として運営している。	B:継続	自然観察会の指導者として、活躍の場を提供する。	学び支援課
	ペアーズバンクに登録している地域の人材、団体に「ウィークエンドいきいき体験活動事業」や公民館の講座などの講師として活躍してもらいます。	登録者数	ペアーズリーダー 延べ39人 ペアーズサークル 25団体	②計画通り進んでいる	民間レベルでの生涯学習支援の一環として運営している。	B:継続	自然観察会の指導者として、活躍の場を提供する。	学び支援課
	「緑のカーテン」事業の一環として、家庭に苗木等の提供及び緑のカーテン活用講座の実施などを行い、地球温暖化に対する市民の意識啓発を図ります。	参加人数	令和3年度の緑のカーテン活用講座を中止したが、申込者に対しゴーヤの苗の配布のみ行った。 市民:40世帯 事業所:3社	③計画より遅れている	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、緑のカーテン活用講座を中止し、申込者に対しゴーヤの苗の配布のみ行った。講座を開催出来なかったことから評価を「③計画より遅れている」とした。	B:継続	令和4年度は、緑のカーテン活用講座を開催し、参加者に苗木を提供した。また、市内事業所にゴーヤ苗を配布した。 講座参加者:35世帯 ゴーヤ苗配布:6社	環境課
	家庭・地域・学校・行政が同じ目標を持って協働するために考案された「白岡アクションプラン」の趣旨に基づき、家庭・地域・学校・行政が有機的に連携して子育てができるよう、市が関係機関との調整を図り、推進団体の育成・支援に努めます。	団体数	3団体 ・PTA連絡協議会 ・子ども会育成連絡協議会 ・「町ぐるみん白岡」	②計画通り進んでいる	「白岡アクションプラン」の趣旨に基づき、家庭・地域・学校・行政が連携して、子育て推進団体の育成・支援に努めた。	B:継続		
	「白岡アクションプラン」の趣旨に基づいて設立された「町ぐるみん白岡」の活動の支援と周知を行います。	事業回数 従事者人数	4事業 ・我が家の約束チェックシート配布・回収 9名 ・アンケート調査実施 14名 ・ひこべえの森冬のつどい 3名 ・「町ぐるみん白岡」だより発行 9名	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施事業回数が減少し、これに伴い従業者数も減少したが、コロナ禍においても実施できる事業に対し支援することができた。	C:見直し・改善 または D:完了・廃止	第6次白岡市総合振興計画及び第3期白岡市教育振興基本計画において、「町ぐるみん白岡」の活動支援の取組を削除し、「町ぐるみん白岡」に限らず市内の子育て・家庭教育に関わる団体(組織)と連携・協力し、地域の子育て支援活動を促進していくこととした。	いきいき教育課

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育カづくり						2 就学前教育の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①幼児教育についての情報提供	市広報紙やチラシ、ホームページ、パンフレット、子育て支援ガイドブック等を通じて、市内幼稚園の情報など幼児教育・就学前教育に関連する情報提供を行います。	継続実施	随時	②計画通り進んでいる	子育て支援ガイドブックを活用し、情報周知を実施した。	B:継続		子育て支援課
②幼稚園における教育、子育て支援の充実	幼児教育の振興や施設の整備などを市内の私立幼稚園を対象に行います。	申請施設	市内私立幼稚園4園	②計画通り進んでいる	私立幼稚園に助成を行うことで、幼児教育施設等の充実が図られた。	B:継続		教育総務課
	幼児教育無償化事業を行うことで、幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担の軽減を図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	幼稚園の入園料・保育料補助 年度末対象者 935人	B:継続		保育課
③保育所における教育の推進	保育所における教育について、研究・検討を行い、さらに内容の充実に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	各年齢別に会議を実施した。また、定期的に各保育所のクラス担任会議を実施し、指導内容の検討を行った。外部で実施している研修会にも積極的に参加した。	B:継続		保育課
	職員の研修を充実させ、その資質の向上に努めます。	継続実施	19回 延べ95人	②計画通り進んでいる	職員が機会を捉えて、様々な研修に参加することで資質の向上に努めた。	B:継続		
④保育所と幼稚園、小学校との連携体制の強化	全体会議や各学校での会議を実施することで、新入学児童についての保育士と教員の話し合いの場を提供し、連携強化を図ります。	会議数	感染拡大防止のため、実施なし	③計画より遅れている	感染拡大防止のため、全体会議は実施しなかったが、各学校と保育所、幼稚園がそれぞれ連携を図った。	C:見直し・改善	実施方法の工夫、内容の精選を図りながら、連携強化に努めていく。	教育指導課
	子どもの育ちを支える資料(保育所児童要録)を学校に継続的に送付します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	年度末就学予定の小学校に保育所児童保育要録を送付した。	B:継続	小学校生活が円滑になるよう保育所児童保育要録を送付し、子ども自身の育ちを小学校教育につなげる。	保育課
	就学に向けて、園ごとに小学校への見学を行い、小学生との交流などを行います。	継続実施	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	B:継続		

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						3	学校教育の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
① 確かな学力・体力の育成	教育指導補助員、教科指導の充実のための加配教員を適宜学校に配置することで、少人数指導を実施するとともに、個に応じた学習の充実に努めます。	継続実施	各小・中学校に、学校の実態に合わせ、教科指導補助員や加配教員を配置した。	②計画通り進んでいる	市費で教科指導補助員を、県費で教科指導充実に係る加配教員を配置した。	B:継続		教育指導課	
	各小・中学校において、あいさつ運動などを行い、優しさと思いやりのある豊かな心の醸成を目指します。	継続実施	各学校の教育活動全体を通して育成を図った。特に、道徳教育や人権教育を通して、推進した。	②計画通り進んでいる	各学校においては、新型コロナウイルス感染症の影響によりあいさつ運動等について、十分に行うことができなかった。	B:継続			
	エコライフDAYなどを実施し、自然を愛し、環境のあり方に関心を持つ児童・生徒の育成を図ります。	廃止	実施なし			学校の働き方改革の一環として、令和2年度から廃止した。	D:完了・廃止		
	児童・生徒の部活動などを通し、健やかな身体の育成や自発性・自主性の向上を推進します。	ボランティア指導員数	ボランティア指導員25名	②計画通り進んでいる	市内4中学校に25名を配置した。	B:継続			
② 豊かな心の育成	学校教育全体を通して道徳教育の充実を図るとともに、体験活動での人々との関わり合いを通して、「心の教育」の充実に努めます。	継続実施	各学校で学校の教育活動全体を通して、道徳教育を推進した。	②計画通り進んでいる	体験活動についても、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら内容を工夫して実施することができた。	B:継続		教育指導課	
③ 悩みごと相談体制の充実	不登校児童・生徒などの支援を行う教育支援センターにおいて、児童の悩みごとの相談体制や、学校への復帰や社会的自立に向けたサポートの充実に努めます。	継続実施	適応指導教室の運営	②計画通り進んでいる	生徒及びその保護者に対して適切に相談が行われ、学習の場が保障できた。	B:継続		教育指導課	
	中学校に「さわやか相談員」やスクールカウンセラーを配置し、人間関係や進路などさまざまな相談に対応します。	相談回数	1,149件	②計画通り進んでいる	生徒及びその保護者に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
	小学校に相談室を配置し、電話や面談による相談を受け付けます。	相談回数	261件	②計画通り進んでいる	児童及びその保護者に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
	教育委員会に設置されている教育相談室で、保護者からの教育相談、就学相談、先生方の教育相談などに対応します。	相談回数	40件以上	②計画通り進んでいる	児童生徒及びその保護者、教員に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
	教育相談室や教育支援センターなどが連携し、不登校などの相談に対応します。	相談回数	118件	②計画通り進んでいる	児童生徒及びその保護者、教員に対して適切に相談が行われた。	B:継続			
④ 信頼される学校づくり	学校運営協議会の設置や学校評議員制度、学校公開、PTA行事を実施し、開かれた学校づくりに努めます。	継続実施	開かれた学校づくりの推進	②計画通り進んでいる	各学校において学校評議員会を実施。また、可能な範囲で学校公開日を設定し、開かれた学校づくりに努めた。	B:継続	令和4年度から全小・中学校区で学校運営協議会を設置したため、学校評議員会は廃止となる。	教育指導課	
	授業公開期間、市広報紙やホームページを積極的に活用するなど、保護者や地域住民に学校を知ってもらうとともに、地域住民との協働による活動や、市の行事への積極的な参加を促し、地域・学校・家庭の連携を強化します。	継続実施	家庭・地域との連携の推進	②計画通り進んでいる	学校公開日を設定し、学校だより等で地域に知らせると共に、学校応援団事業を推進し、家庭、地域と連携した教育を展開した。	B:継続			
	各学校において、定期的に施設整備の点検を行い、安全・安心や防犯の一層の充実に努めます。	継続実施	安全・安心な学校づくりの推進	②計画通り進んでいる	各学校において、定期的に施設整備の安全点検を実施。	B:継続			
⑤ 学校応援団の推進	学校応援団づくりを推進し、各学校応援団の交流や、日々の教育活動の強化、児童・生徒の見守りを行い、地域の教育力の積極的な活用を図ります。	継続実施	学校応援団事業の推進	②計画通り進んでいる	各学校において学校応援団事業を推進し、日々の教育活動や、児童生徒の見守り等に尽力いただいた。	B:継続		教育指導課	

Ⅲ 子どもが個性豊かに育つ教育力づくり						4 次代の親の育成			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
①男女平等教育の推進	学校の全教育活動を通して、人権教育や道徳、男女平等教育などを行い、生徒の意識の醸成を図ります。	継続実施	男女平等教育の推進	②計画通り進んでいる	人権教育や道徳、学級活動において男女平等教育について扱う時間を設定し、計画的に教育活動を展開した。	B:継続		教育指導課	
	学校生活の中で、必要以上に男女を区別することなく、平等になるように配慮を行います。	継続実施	男女平等教育の推進	②計画通り進んでいる	学校生活の中で、男女を区別するところと平等にするところを配慮した。	A:拡大・充実	中学校の制服等の見直し		
	小学校に支援相談員、中学校にさわやか相談員を配置し、男女の問題に関する悩みを抱える保護者や児童・生徒のための教育相談体制の充実を図ります。	継続実施	教育相談の充実	②計画通り進んでいる	小学校に支援相談員、中学校にさわやか相談員を配置し、相談体制を整えている。	B:継続			
	学校教育などにおいても、児童・生徒が性別にとらわれないように学校生活を送れる環境の整備や、男女がお互いの性を理解・尊重できるような知識普及、意識の醸成を図ります。	継続実施	男女平等教育の推進	②計画通り進んでいる	学校生活の中で、男女を区別するところと平等にするところを配慮した。	B:継続			
②小・中・高校生と乳幼児とのふれあい	定期的に、小・中・高校生と乳幼児が交流するような行事の企画や、卒園児の行事への招待を行い、異年齢交流を図ります。	継続実施	なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	B:継続		保育課	
	異年齢のふれあいを実現するべく、教科の授業や中学生社会体験チャレンジ事業などで保育所や幼稚園への訪問を実施します。	継続実施	異年齢交流の推進	②計画通り進んでいる	中学生社会体験チャレンジ事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったが、中学校第3学年家庭科の授業で保育実習を行い、交流の場をもった。	B:継続		教育指導課	
		参加者数(家庭科授業)	158人	②計画通り進んでいる	中学生の家庭科授業において交流を実施した。	B:継続		保育課	
	高校生の夏休みボランティアの保育所による受け入れを継続します。	継続実施	なし	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A:拡大・充実		保育課	
	児童館における日常的な異年齢交流を、児童館まつり、小中学生を対象とした事業などを通して促進します。	受け入れ人数	東308人 西1,037人	②計画通り進んでいる	児童館まつりや小中学生対象の事業で異年齢交流の促進に努めた。	B:継続		安全対策に努めながら、市民のニーズに合った児童館の充実のための事業を継続する。	子育て支援課 (東・西児童館)

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						1 地域子育て支援の充実			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
①交流機会の創出	地域子育て支援拠点などにおける遊びの指導や育児講座を通じて、手遊びやふれあい遊び、制作等を実施し、親子がともに育つ場作りを充実します。	参加人数 講座回数	はびちる事業参加者 1,341人 115回実施(21回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業もあったが、開催された事業では、安全対策に努め、手遊びやふれあい遊び、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続	オンライン講座の検討を行っている。	子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			らぶちる事業参加者 2,215人 123回実施(33回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業もあったが、開催された事業では、安全対策に努め、手遊びやふれあい遊び、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			ぶりちる事業参加者 591人 79回実施(18回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業もあったが、開催された事業では、安全対策に努め、手遊びやふれあい遊び、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
			虹事業参加者 747人 101回実施(48回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる事業もあったが、開催された事業では、安全対策に努め、手遊びやふれあい遊び、制作など親子で楽しめるよう内容の充実を図った。	B:継続	オンライン講座の検討を行っている。	子育て支援課 (虹)	
	図書館で各種おはなし会、親子への読書案内などを実施し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士のコミュニケーションの場を提供するよう努めます。	事業実施回数、参加者数	・おはなし会 27回 延べ278人参加 ・ちいさい子のおはなし会 26回 延べ503人参加 ・お父さんと一緒に本を読もう! 3回 延べ26人参加	②計画通り進んでいる	図書館ボランティアとともにおはなし会を開催し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士の交流の場を提供した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めていく。	学び支援課	
	児童館における各事業の中で親子、異年齢、異世代間の交流を図りながら、一人で来館しても他の来館者との仲間づくりの輪を広げられるように努めます。	参加人数	東児童館事業参加者 864人	②計画通り進んでいる	安全対策に努め、親子、異年齢、異世代間での交流が充実するよう、多様な事業を実施した。	B:継続		子育て支援課 (東児童館)	
			西児童館事業参加者 2,011人	②計画通り進んでいる	安全対策に努め、親子、異年齢、異世代間での交流が充実するよう、多様な事業を実施した。	B:継続		子育て支援課 (西児童館)	
	「ウィークエンドいきいき体験教室」などで、親子や他の家庭との交流等の促進を図ります。	参加人数 教室回数	・田んぼの学校 全2回 延べ18組42名 ・自然観察会 全4回 延べ135名	②計画通り進んでいる	「ウィークエンドいきいき体験教室」など、親子の交流等の促進を図ることができた。	B:継続	・田んぼの学校(4回) ・自然観察会(5回のうち1回は田んぼの学校と重複) ・自然ふれあい体験教室 ・わいわい料理教室(2回) ・体験活動事業(わんぱく商店街) ・公立学校開放講座	学び支援課	
②子育てサークル等への支援	子育てサークルに対し、活動場所の提供や交流会の開催などの支援を行います。	参加人数	98人	②計画通り進んでいる	子育てネット「にこ梨ん」や民生児童委員の協力を得ながら、サークル作り、サークル活動の支援を行った。サークル結成後については、場所や備品の貸出をし、必要に応じて支援を行い、各サークルが活動しやすいよう努めた。	B:継続		子育て支援課 (はびちる)	
		継続実施	幼児教室(七夕):計1回 親子10組参加 保健センターの壁面作り 親子で遊べる工作キットを作成し配布 親子マスクの作成・配布	②計画通り進んでいる	新型コロナウイルス感染対策のため、幼児教室など中止となった事業も多いが、コロナ中でもできる活動を工夫し、地域に根付いた取り組みを行っている。	B:継続	引き続き事業を支援すると共に、地域の課題や新たな活動方法を一緒に考えていく。	健康増進課	
③子育て支援ネットワークづくり	子育てサークルからなる「子育て支援ネットワーク」の推進とともに、「子育て支援ネットワーク会議」のあり方の検討や充実に努めます。	会議回数 参加人数	0回 0人	③計画より遅れている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	B:継続	感染状況等を活眼しながら、感染対策を行い事業再開に向け準備を進めていく。	子育て支援課	
		講座回数 参加人数	1回 42人	②計画通り進んでいる	育児講座で消防署に派遣依頼をし、消防職員による講話と消防車・救急車見学を実施した。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
			2回 32人	②計画通り進んでいる	育児講座で保健センター職員と消防署に派遣依頼をし、職員による講話と消防車・救急車見学を実施した。			子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
			1回 6名	②計画通り進んでいる	家庭児童相談員と連携した講座を実施した。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
		0回 0人	③計画より遅れている	計画をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	B:継続	新型コロナウイルス感染対策を行い、事業再開に向けて準備を進めていく。	子育て支援課 (虹)		

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						1	地域子育て支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
④ボランティアの育成	市社会福祉協議会において、ボランティアに関する情報提供を行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	市社会福祉協議会において、ボランティアに関する情報提供を行った。	B:継続	市社会福祉協議会において、ボランティアに関する情報提供を行う。	子育て支援課	
	地域の子育て力を高めるため、ボランティア活動の促進に取り組むとともに、今後もボランティアの積極的な受け入れに努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	ボランティアの積極的な受け入れに努めた。	B:継続	地域の子育て力を高めるため、家庭や地域・学校が連携し、ボランティア活動の促進に取り組むとともに、今後もボランティアの積極的な受け入れに努める。		
	毎月のおはなし会のミーティングや定期的な図書館ボランティア連絡会を開催し、地域と密着した図書館を目指します。	事業実施回数、参加者数	・おはなし会 27回 延べ278人参加 ・ちいさい子のおはなし会 26回 延べ503人参加 ・お父さんと一緒に本を読もう! 3回 延べ26人参加 ・図書館ボランティア体験講座 延べ8人参加	②計画通り進んでいる	図書館ボランティアとともにおはなし会を開催し、絵本を通じた親子のふれあいや、親同士の交流の場を提供した。また、ボランティア発掘のため、図書館ボランティア体験講座を新たに実施した。	B:継続	引き続き事業の充実に努めていく。	学び支援課	
⑤相談体制の充実	保健センター内の子育て世代包括支援センターを中心に電話や面談での相談体制の充実を図ります。	相談事業回数 相談人数	妊娠届出時に専門職による面談の実施:390人 乳幼児健康相談: 24回 延べ288人 乳幼児栄養相談: 12回 延べ52人 フォロー相談: 24回 延べ86人 乳幼児クリニック:6回 21人 ことばの教室: 36回 延べ123人	②計画通り進んでいる	平成31年1月、子育て世代包括支援センター開設後、子育て支援機関や医療機関等と連携調整を図り、相談・情報提供等、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない継続な支援を行った。	B:継続		健康増進課	
		相談件数	21件	②計画通り進んでいる	電話や面談での相談を随時行うこととともに、利用者への声掛けを積極的に行い、利用者が安心して相談できる雰囲気づくりに努め、必要に応じて包括支援センターにつなげ充実を図った。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
		相談件数	13件	②計画通り進んでいる	利用者への声掛けを積極的に行い、利用者が安心して相談できる雰囲気づくりに努め、必要に応じて包括支援センターにつなげ充実を図った。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
		相談件数	32件	②計画通り進んでいる	電話や面談での相談を随時行うこととともに、利用者への声掛けを積極的に行い、利用者が安心して相談できる雰囲気づくりに努め、必要に応じて包括支援センターにつなげ充実を図った。	B:継続		保育課 (ぷりちる)	
		相談件数	8件	③計画より遅れている	電話や面談を随時行うことと共に、利用者が安心して相談出来る雰囲気づくりに努めた。	B:継続		相談事業の周知をすると共に利用者への声掛けも行う。	子育て支援課 (虹)
	未就学児のいる家庭で、子育てのことについて近くに相談する人がいないなどを対象に、子育て支援センターの職員などが自宅に訪問し、相談に応じる「訪問型子育て支援」を継続し、相談体制の充実を図ります。	相談件数	0件	③計画より遅れている	市広報誌や児童館拠点だよりで事業の情報提供に努めた。	B:継続		子育て支援課	
	広報、ポスター、地域子育て支援拠点だより、保健センター事業等予定表等において、相談事業の周知活動に努めるとともに、相談体制の確立を図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	事業予定表の全戸配布、市広報、市公式HP、チラシ等を活用し相談事業の周知に努めた。	B:継続		健康増進課	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	相談事業の周知をするとともに利用者への声掛けも行った。	B:継続		保育課 (ぷりちる)	

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						1 地域子育て支援の充実			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
⑥情報提供体制の充実	市広報紙やパンフレットなどを積極的に活用し、子育て中の親と子に様々な情報を提供します。	情報の提供・回数	広報・児童館拠点だより各12回、にこ梨んに関する記事4回、学習ガイド2回 計30回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットのほかに、ミニチラシの設置、利用者へ声掛け、事業内での情報提供を行い、子育てに関する情報提供に努めた。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)	
		情報の提供・回数	広報・児童館拠点だより各12回、学習ガイド2回 計26回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットのほかに、ミニチラシの設置、利用者へ声掛け、事業内での情報提供を行い、子育てに関する情報提供に努めた。	B:継続		子育て支援課 (西児童館・らぶちる)	
		情報の提供・回数	広報・拠点だより各12回、学習ガイド2回 計26回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットのほかに、利用者へ声掛け、事業内での情報提供を行い、子育てに関する情報提供に努めた。	B:継続		保育課 (ぶりちる)	
		情報の提供・回数	広報・拠点だより各12回、学習ガイド2回 計26回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットのほかに、ミニチラシの設置、ブログ・SNSの発信、利用者へ声掛け、事業内での情報提供を行い、子育てに関する情報提供に努めた。	B:継続	支援事業を周知してもらうために、情報提供の新たな方法を検討する。	子育て支援課 (虹)	
		情報提供・回数	広報しらおか12回 いきいきキッズ3回 生涯学習ガイド2回	②計画通り進んでいる	市広報紙やパンフレットなどを活用し、子育て中の親と子に様々な情報を提供することができた。	B:継続	・広報しらおか ・いきいきキッズ ・生涯学習ガイド を発行します。	学び支援課	
		継続実施	実施	②計画通り進んでいる	必要に応じて、広報誌やポスターの掲示等で情報提供を実施した。	B:継続		福祉課	
		継続実施	家庭訪問・健診時等にチラシや冊子を配布。	②計画通り進んでいる	事業予定表の全戸配布、市広報、市公式HP、チラシ等を活用し相談事業の周知に努めた。	B:継続		健康増進課	
		継続実施	保健センター内の子育て世代包括支援センターを中心に情報提供体制の拡充などを図ります。	妊産届出時・家庭訪問・健診時等にチラシや冊子を配布。	②計画通り進んでいる	事業予定表の全戸配布、市広報、市公式HP、チラシ等を活用し、子育てに関する情報の周知に努めた。	B:継続		健康増進課
継続実施	ホームページの英語表記機能により、日本語を母国語としない子どもや保護者、家庭のために、保育園、幼稚園などに関する情報を発信するとともに、コンテンツの拡充等について必要に応じて検討します。	実施	②計画通り進んでいる	日本語を母国語としないかたも情報が得られるよう、市公式ホームページの翻訳機能を活用できるよう整えた。	B:継続		秘書広報課		

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり		2 多様な保育サービスの充実						
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①保育所機能の充実	待機児童解消を目的とした、認可保育所の定員増や弾力化、低年齢児童を中心とする受け入れ枠の拡大・推進を図ります。	待機児童数	4月報告 18人	②計画通り進んでいる	保育必要量を見込み、待機児童の解消に向けた保育所整備を推進する。 新設民間保育所(定員90人)の令和6年度開所に向け、準備を進める。	A:拡大・充実	認可保育所の定員増や弾力化、低年齢児童を中心とする受け入れ枠の拡大等を図って、待機児童の解消に努めます。	保育課
	保護者が安心して児童を預けられるよう、国基準より多く職員を配置するなどして、保育所機能の充実に努めます。	継続実施	実施	①計画以上進んでいる	保護者が安心して児童を預けられるよう、国基準よりも多く人員を配置するなど、保育所の機能の充実に努めた。	B:継続	生活様式の多様化や社会・産業構造の変化の中で、子育てと仕事が両立できるように、保育所の機能の充実に努めます。	
	人材、設備等を整備し、障がい児の受け入れが可能な体制を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	人材、設備等を引き続き整備し、受け入れが可能な体制を継続した。	B:継続	障がい児保育については、受け入れが可能な体制を継続します。	
②保育所における保育サービスの充実	現行の通常保育や延長保育、一時保育の実施を継続するとともに、需要に応じて延長保育時間の更なる延長や休日・夜間保育の実施について検討します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	公立保育所において、最長朝7時から夜19時まで開所する延長保育や、一時保育の実施を継続した。公立保育所における土曜日保育について、平成31年度から平日と同様になるよう保育時間を拡大した。	B:継続	需要に応じて、延長保育の更なる時間延長、一児保育の利用事由の拡大、休日・夜間保育の実施等について引き続き検討する。	保育課
	必要に応じて、保育所で障がい児保育を実施します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	必要に応じて受け入れ体制を整え、障がい児保育を実施した。	B:継続		
	保育所内外における安全点検や、外部からの不審者などの侵入防止に向けた訓練など、事故や事件、けがの防止に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	クラス担任は、毎月安全チェックリストを記入し、保育所内外における安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制を図った。 職員、子どもが防犯ひまわりの巡回を実施し、不審者対応について学んだ。	B:継続		
	年間を通して行う定期的な防災・避難訓練や、紙芝居などを通して子どもたちへの啓発活動などを通して、知識の普及を図ります。	避難訓練回数 参加者数	訓練回数:年12回 参加者数:保育所全入所児童	②計画通り進んでいる	年12回避難訓練を実施(うち年1回は消防署立会いのもと)、定期的に絵本や紙芝居を通じて子どもたちに啓発活動を行っている。	B:継続		
	有事の際に備えた、保険証番号や血液型などを記録した個々人の防災カードの作成の推進と、活用体制の確立を図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	一部は保育所控え、もう一部は保護者控えとして防災カードの作成を図った。	B:継続		
	不審者対策など、職員向け防犯マニュアルに基づき安全保育を周知するとともに、有事の際の子どもたち自身の対応力を伸ばすような訓練を実施します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	防犯ひまわりの巡回を実施した。また、各園ともに不審者対策の方法を子どもたちと一緒に考え対応力を身につける訓練を実施している。	B:継続		
	定期的に研修や会議を実施し、職員の資質の向上を図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	定期的に会議等を実施し、さらなる資質向上を図るように努めた。	B:継続		
	保育所の保育サービスに対する利用者のニーズ調査を実施し、対応するとともに、第三者評価の受け入れについて検討します。	継続実施	実施	③計画より遅れている	ニーズ調査の方法や第三者評価の受け入れについて検討したが、導入には至らなかった。	B:継続		
③その他保育サービスの充実	ファミリー・サポート・センターについては、定期的な入会説明会や臨時の入会説明会を行うなどして、継続的な協力会員の増員に努めます。	会員数	525人	②計画通り進んでいる	毎月定期的に入会説明会を実施するほか、臨時の入会説明会も実施し、利用者が入会しやすいよう考慮した。	B:継続		子育て支援課
	病児や病後児の一時保育を行う「緊急サポートセンター事業」を継続し、推進します。	継続実施	3件	②計画通り進んでいる	平成27年より実施して令和3年度も継続して実施した。	B:継続		
	家庭保育室と連携を図ることで、保育サービスの充実・周知に努めます。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	認可保育所以外の保育施設として、保護者に情報提供した。	B:継続		保育課

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						3 子育て家庭に対する経済的支援の充実		
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課
①手当・医療費の助成等	「児童手当」、「子ども医療費」及び「ひとり親家庭等医療費」について、対象者への支給を継続します。	継続実施	継続実施	②計画通り進んでいる	申請者に対して適正な給付をすることができた。	A:拡大・充実	子ども医療費については、令和4年10月診療分から現物給付が市内から県内に拡大されます。また、ひとり親家庭等医療費については、償還払いから県内現物給付が開始されるとともに、市県民税課税者に入院1日につき1,200円、通院の場合1医療機関につき1か月1,000円の自己負担金が廃止されます。このことから、前年度以上に保健の向上と福祉の増進を図ります。 また、子どもを養育している者に児童手当を支給することで、次世代の社会を担うことものの健やか育ちを支援します。	子育て支援課
②ベビーベッドの貸し出し	乳児の健やかな成長を支援するべく、申請者に対して適切なベビーベッドの貸し出しを行い、育児をする家庭の経済的負担の軽減を図ります。	貸出数	新規 156件 延長 74件	①計画以上進んでいる	申請者に対して適正な貸し出しを行った。	B:継続	申請者に対して適正な貸し出しを行い、乳児の健やかな成長を支援するとともに、育児をする家庭の経済的な負担の軽減を図っていく。	子育て支援課
③県事業の促進	埼玉県が実施している「パパ・ママ応援ショップ」子育て家庭優待事業をより利用しやすくするため、希望者に対して適宜優待カードの配布、スマートフォンアプリの周知、協賛店舗の拡大・充実に努めます。	継続実施	協賛店舗数:97	②計画通り進んでいる	希望者に対し適宜優待カードを配布した。協賛店においては、随時店舗からの希望があれば受付を行っている。 前回報告では97店舗あったが、3店舗減少している。	B:継続		子育て支援課

IV 子育て家庭が住みよい地域づくり						4 働きながら子育てできる地域づくりの充実			
具体的な施策	事業計画記載内容	指標	令和3年度(実績)	評価	令和3年度の実施状況及び左の評価の理由	次年度の方向【令和4年度】	左の補足説明	担当課	
①男女共同参画の意識啓発	男女の平等や相互の協力についての学習や講座、セミナーなどを充実させ、男女共同参画の考え方や、男性の家事・育児参加についての啓発を推進します。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	男女共生セミナーの開催や男女共同参画パネル展の開催により多様な働き方について、情報提供をすることができた。	B:継続		地域振興課	
	男女共同参画の意識啓発を図るため、しらかか男女共生広報紙「ハーブティ」の発行や、参画ステップアップ講座、または男女共生セミナーを開催します。 社会的性別(ジェンダー)などの固定観念にとらわれず男女の多様なイメージが浸透するように、市の作成する広報紙などの表現に留意するように努めます。	発行回数 参加人数	発行2回 視聴回数242回	②計画通り進んでいる	「ハーブティ」の発行、男女共生セミナー(オンライン)の開催により、男女共同参画の意識啓発を図ることができた。	B:継続		地域振興課	
②男性を含めた働き方の見直し	「ワーク・ライフ・バランス」の考え方や安心して育児と就労、家事、介護、地域生活ができる環境づくりについての啓発をパンフレットの配布などを通じて行います。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	「ワーク・ライフ・バランス」等の実施についてのパンフレットを窓口で配布した。	B:継続	「ワーク・ライフ・バランス」等の実施についてのパンフレットを引き続き窓口で配布する。	子育て支援課	
		実施回数(利用人数)	12回実施(4名利用)	②計画通り進んでいる	女性の相談室において、子育て中のかたも安心して相談ができるよう、希望者に対し子の一時預かりを実施した。	B:継続		地域振興課	
	商工団体と連携し、女性の経営参画の推進や子育て支援に関し啓発に努めます。	事業所数	740事業所	②計画通り進んでいる	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をすることができた。	B:継続	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をする。	商工観光課	
③父親の子育て参加の促進	市内の事業所などに対し、商工会や工業団地振興会などを介して、育児休業制度などの制度を十分に理解して利用するよう啓発に努めます。	事業所数	740事業所	②計画通り進んでいる	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をすることができた。	B:継続	国・県等のチラシを配布することで、情報提供をする。	商工観光課	
		労働者や事業主の意識改革を促進するため、各種制度に関するパンフレットの配布や親子クラブの実施などを行い、父親の子育て参加の場の提供を行います。	参加人数	68人	②計画通り進んでいる	パパとあそぼう、親子教室・育児講座(土日)の事業を実施し、父親の子育て参加の場の提供を行った。	B:継続		子育て支援課 (東児童館・はびちる)
	父親と子どもが楽しく参加できるような事業の開催、両親学級などで父親向けの話やDVDの視聴を通じた、子育てに参加する父親の意識を高め、父親の育児参加を促進します。	参加人数 事業回数	母親・両親学級 2日コース×4回 1日コース×11回 父親:70人(参加率77.7%)	②計画通り進んでいる	父親と子どもが楽しく参加できるような事業の開催、両親学級では父親向けの話やDVDの視聴を通して、父親となる自覚が芽生えるよう支援している。	B:継続	新型コロナウイルス感染症対策のため、父親同士の交流の時間は取れないが、感染状況に応じて検討していく。	健康増進課	
④放課後児童の健全育成の充実	施設の増築や余裕教室の利用、弾力化定員等について勘案しながら、放課後児童クラブ(学童保育所)の定員の拡大を図ります。	定員数	定員460人	②計画通り進んでいる	弾力化定員や学校教室を借用することで、受け入れ人数の拡大を図った。 西第三学童クラブの新設により、定員が40人拡大された。	A:拡大・充実	南第三児童クラブを新たに整備する。	保育課	
		放課後児童指導員について、有資格者を配置するべく、放課後児童支援員認定資格研修への参加を推進します。	配置数	各学童保育所に1名増	②計画通り進んでいる	各学童1名ずつ放課後児童支援員認定資格研修に参加し、資格を取得した。	B:継続		放課後児童支援員認定資格研修に計画的に参加し、資格取得を推進する。
	保護者との調整を行いながら、必要に応じて障がいのある児童の受け入れを図ります。	継続実施	実施	②計画通り進んでいる	保護者と調整しながら受入に努めた。	B:継続	保護者と調整しながら受入に努める。	いきいき教育課	
	放課後などに小学校の余裕教室などを活用し、子どもが安心して活動できる場を提供することを目的に、新たに、放課後子供教室の開設を検討します。	学校数 参加者数	1校 ・菁莪小学校 36名	②計画通り進んでいる	年8回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うまん延防止等重点措置が適用されたため、6回の実施になってしまった。 また、参加児童や保護者へのアンケート結果ではたいへん好評であった。	A:拡大・充実	令和4年度は、菁莪小学校に追加して大山小学校でも実施していく。 また、実施回数についても、菁莪小学校では8回から12回に増やし、大山小学校では昨年度の菁莪小学校と同様8回実施する。		